

国際協力委員会

<p>1, 2 月</p>	<p>部会開催：2月26日（月）</p> <p>議題：</p> <p>1) 各国法規制のリンクの有効性調査：結果と今後の進め方 各国報告書に記載されたリンク先の有効性について昨年、委員で手分けして調査した結果を基に、今後どうするかを検討した。</p> <p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●データベースの見目は美しいが、情報が更新されていないため具体的な事業に係わる判断には使えないのが現状。 ●事務局に外部から問い合わせがある際は、過去の調査時点での情報であり更新はしていないと回答している。 ●委員より、PDF に埋め込まれたリンクを探し出しリンク先の有無を容易に確認できるフリーのプログラムがある、という情報提供があった。 <p>【課題・問題点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●フリープログラムで調査が可能なのは、リンク先の有無までである。リンク先があったとしても、①リンク先に直接目当ての情報がある場合、②リンク先からどこか別の箇所に目当ての情報がある場合の2つがあり、いずれにしても精査が必要となる。 ●委員で長時間かけてリンクを確認しても、目的とする情報にたどり着くかどうかはわからない。 ●本当に情報が有効利用できるようにするための更新作業には専任が必要と思われるが、外注等のための予算は無い。 <p>【結論】</p> <p>上記を鑑み、しばらくの間、本件に関する検討は凍結する。</p> <p>2) BeSeTo 会議で共有したい（してもらいたい）テーマについて： 今年の BeSeTo 会議は、台湾がホスト国となり 9 月に開催される予定である。1 月の ILSI 本部総会の場で各支部より紹介された各支部の活動内容をレビューしながら、新提案の「共有したいテーマ」の候補を議論し、大きく 4 つ候補を挙げた。この中から 3 月中に 1 つか 2 つに絞り込むべく、委員内でメール等を利用して議論していく予定である。 従来から継続しているトピック「法規関連の動向」に関しても、日本からの候補をいくつか挙げた。</p>
<p>3, 4 月</p>	<p>部会開催：3月2日（金）—4月5日（木）随時</p> <p>【議題①】</p> <p>2018 年の BeSeTo 会議（ホスト国：台湾）に先立ち開催されるサテライトシンポジウム の話題候補</p> <p>【議題②】</p> <p>同 BeSeTo 会議において、昨年の BeSeTo 会議で提案した「新たな 枠組み」として「参加支部間で共有したい話題」の候補 全員で集っての会議は実施せずに、上記 2 つの議題に関し委員間で</p>

	<p>メールでの意見募集と議論を行い、それぞれ日本としての意見をまとめて事務局より ILSI 台湾に連絡した。</p> <p>【日本の意見提出】</p> <p>議題①に関しては、3月26日（月）に意見が集約された以下3案を提出</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Dietary Intakes Survey or Food Composition Database（摂取量（暴露量）評価や食品成分データベース） 2) Reduction of salts/sugars intake strategy/campaign, with reference to WHO Recommendations (There are many traditional foods containing much salt in Asia. It might be better to discuss the issue considering potassium salt as well.) （糖類や塩分摂取の削減に関する WHO の勧告に基づく各国での戦略やキャンペーン活動） 3) Front of Package – practice in Asian countries（FOP：製品に含まれる栄養素に関してパッケージ正面に表示される様々な記号の取組のアジア諸国の実践例） <p>議題②に関しては、候補を1つに絞り4月5日（木）に以下を提出</p> <p>“Issues and policies on nutrition of each country”（栄養に関する各国の課題と政策）</p> <p>【ホスト国よりのフィードバックおよび日本の対応】</p> <p>議題①のサテライトシンポジウムの話題は、以下に決定。</p> <p>"The practical implementation of food microbiological criteria by regulatory authorities with focus on the sampling plan and risk management."</p> <p>これを受けて、日本で事務局を中心に演者の選定を開始。</p> <p>議題②に関しては、「新たな枠組み」は取り入れない旨通知があった。これを受けて、日本からは、参加支部が増えたことと時間的制約を鑑み了承した旨を返信した。</p> <p>【今後の予定】</p> <p>サテライトシンポジウムの演者の選定を進めることと、BeSeTo 会議での今年の日本からの発表内容およびプレゼンターの選定を行う。</p>
5, 6 月	<p>委員会開催：2018年6月7日（木）10:00～11:20</p> <p>【議題】 今年の BeSeTo 会議のテーマ等について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. BeSeTo 会議の開催日程、プログラム、サテライトシンポジウムのテーマ、日本からの演者の件について。 <p>事務局から以下が委員に対して報告された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 日程は9月13-14日、場所は THE HOWARD PLAZA HOTEL TAIPEI にて、台湾支部のホストで開催する。 ● 会議のプログラムの枠組みは従来通り4つ。 <ul style="list-style-type: none"> “Food safety issues and/or incidents” “Risk assessment” “Regulatory issues” “Branch collaboration” ● サテライトシンポジウムは全支部の希望を集約した結果、以下のテーマで開催することとなった。 <ul style="list-style-type: none"> “The practical implementation of food microbiological criteria by regulatory authorities with focus on the sampling plan risk management”

	<p>日本からの演者として、山口大学の豊福肇先生に依頼をしてご快諾をいただいた。豊福先生には、オーバービューと共に我が国の状況についても併せてご紹介いただく予定である。</p> <p>2. BeSeTo 会議での日本支部からの発表テーマについて 議論の結果、候補としては 5 つ挙げられた。 5 つ中 4 つが Regulatory issues に集中していた。 出席できなかった委員も含めて、引き続き全員に対しテーマを募集し次回の会議で議論することとした。 発表テーマによっては委員以外の演者を依頼することになるため、早くテーマを決める必要がある。 次回会議は、7 月 5 日（木）の 15:00～17:00 の予定。</p>
7, 8 月	<p>委員会開催 2018 年 7 月 5 日（木） 15:00～16:30 【議題】 2018 年 BeSeTo 会議とサテライトシンポジウムの発表テーマについて、他</p> <p>1. BeSeTo 会議に先立ち行われるサテライトシンポジウムにつき、事務局より更新情報が共有された。</p> <p>① キーノートは日本からの山口大学の豊福先生に加えて台湾の Dr. Yao-Wen Huang の 2 名が演者となった。</p> <p>② 各支部は、国もしくは地域の食品の微生物規格基準設定とサンプリングプランおよびリスクマネジメントに関してその取り組み状況をアップデートする。ただし日本の情報は豊福先生の講演の中に入れていただく。</p> <p>2. BeSeTo 会議での日本からの発表テーマの件を前回に引き続き協議し、5 つに絞った。このうち 2 つのテーマに関しては、その専門性の観点から国際協力委員会委員以外からの発表が望ましく、事務局を通して候補の方々へ可能性を打診し 7 月半ばまでに回答得ることになった。</p> <p>3. メンバーの異動・交代の案内：7 月 1 日をもって、事務局長が宇津氏から中村氏に交代となったことと、その他委員の所属変更などが委員間に共有された。</p> <p>委員会開催 2018 年 7 月 25 日（水） 15:00～16:30 【議題】 2018 年 BeSeTo 会議における日本からの発表テーマについて 前回の委員会での議論を受けて、日本からの発表テーマと演者候補者を決めた。 <u>BeSeTo 会議での日本からの発表テーマ：</u> 前回の委員会後、2 つのテーマに関しては専門性の観点から国際協力委員会メンバー以外の演者候補の方々に発表の可能性を打診した結果、この 2 つのテーマは発表から外すことに決定した。</p> <p>事務局長より、次の台湾事務局からの更新情報が共有された。</p> <p>① 中国が、香料と香水など化粧品に関する法規改正に関して発表する予定である。 ② その際、最近アジア地域では香料に関する大きな法規改正が続いているので、長めの Q&A セッションを設け各国の状況を共有して欲しいとの要望があった。 これを受けて、日本からは予定していた発表枠の他に本件の Q&A セッションでの日本の</p>

	<p>状況を共有する発表者を決めた。</p> <p>議論の結果、上記に加えて以下のテーマが決定し、演者候補者も決定した。</p> <p>(Regulatory)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. The latest update of Food regulation in Japan: 2. The latest update of Additives regulation in Japan: (Food safety issues and/or incidents) 3. Major incidents in Japan: <p>(Others)</p> <ol style="list-style-type: none"> 4. “ILSI Japan’s activities to enlighten the pharmacist for functional foods”: <p>議論の中で、それぞれのテーマの具体的な発表内容について様々な意見が出たが、最終的な発表内容は演者に一任することとした。</p> <p>台湾事務局からはまだ締め切りの案内が来ていないが、演者は8月末を目途に発表マテリアルの準備を進める。</p>
9, 10 月	<p>委員会開催：2018年10月17日（水）16:00～17:30</p> <p>【議題】</p> <p>① BeSeTo 会議報告</p> <p>2018年9月13日（木）～14日（金）に台湾の台北で開催されたサテライトシンポジウムおよび BeSeTo 会議について、出席した委員より報告があった。</p> <p>アジェンダに沿って各セッションのハイライト、議論の内容などの概要が他の委員に共有された。同会議の詳しい報告は、「イルシー」誌に記載される予定である。</p> <p>なお、事務局から、次期ホストの東南アジア支部より次回の BeSeTo 会議を 2019 年 9 月 24～27 日にマレーシアのペナン（Penang）で開催する方向で計画中であるとの連絡があった旨の報告がされた。</p> <p>② 国際協力委員会今年の活動実績報告と、来年の活動予定：</p> <p>国際協力委員会からの 2018 年の活動計画に対する実績報告と、2019 年の活動計画につき、委員に共有された。</p>
11, 12 月	<p>委員長交代のお知らせ：</p> <p>平成 28 年 4 月より国際協力委員会委員長を務めていたネスレ日本(株)の高橋智子氏が年内で退任し、平成 30 年 1 月より新委員長に長瀬産業(株)の松山菜月氏が着任することが委員に報告された。</p> <p>平成 30 年の初回委員会については、1 月 31 日（木）の 16:00 から開催予定である。</p>